

信州大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年10月2日

「エストロゲン受容体陽性リンパ節転移陰性で術後ホルモン療法の施行された乳癌  
における Curebest™ 95GC Breast の有効性検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4197
研究課題名	エストロゲン受容体陽性リンパ節転移陰性で術後ホルモン療法の施行された乳癌における Curebest™ 95GC Breast の有効性検討
所属(診療科等)	乳腺内分泌外科
研究責任者(職名)	伊藤研一(教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2020年3月31日
研究の意義、目的	乳癌術後再発予後予測因子の同定。 多遺伝子シグネチャを行うことで、乳癌術後補助療法の適切な治療の進め方を決める助けになる可能性を明らかにすることを目的としている。
対象となる患者さん	1989年1月1日から2010年12月31日の期間に当院で乳癌の治療を受け、浸潤性乳管癌検体の保管に同意された方。
利用する診療記録／検体	病理検体
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	記録媒体、郵送、電子的配信 等により提供を受けます
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、Curebest™ 95GC Breast と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名 (研究責任者氏名)	シスメックス株式会社(責任者:多田幸代) 信州大学(責任者:伊藤研一)、国立がん研究センター 中央病院(責任者:木下貴之)、広島大学病院(責任者:有廣光司)、四国がんセンター(責任者:高橋三奈)、地域医療機能推進機構(JCHO)大阪病院(責任者:塚本文音)
研究代表者	主任施設の名称:シスメックス株式会社 研究責任者:多田幸代
問い合わせ先	伊藤研一(信州大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科) 電話:5289

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。